

第十三回 田島祇園祭屋台歌舞伎 特別舞台公演

12月14日、第13回田島祇園祭屋台歌舞伎特別舞台公演が御蔵人交流館で開催されました。

第1部は、9月から稽古に取り組んできた田島小学校3年生が、田島地区にある鳴山城を舞台に、長沼家と伊達家を描いた物語「時津風日乃出松～鳴山城内の場～」を上演しました。

第2部は、歌舞伎保存会の高校生から大人の役者たちによる、一の谷の合戦後の平家の武将敦盛と、源氏の武士熊谷直実の悲劇を描いた「一谷嫩軍記～須磨ノ浦の場～」を上演。

第3部は、同保存会の幼稚園から中学生の役者たちによる、江戸廻米の廃止や年貢減免等を江戸幕府へ直訴した百姓一揆を題材とした地元オリジナル演目「南山義民の碑～地蔵が辻の場～」を上演しました。

艶やかな着物をまとった役者たちが、義太夫節やツケに合わせて本格的な見得を披露。堂々とした演技に、来場者からは盛大な拍手が送られました。

また、開演前には田島しゃんぎり保存会による、しゃんぎりの演奏も行われ、会場を盛り上げました。

平成4年の夏頃から、子ども歌舞伎を復活させようという機運が高まり、町民有志により同年9月に「田島祇園祭屋台歌舞伎保存会」が設立され、平成6年から、会津田島祇園祭での子ども歌舞伎の上演が再開されました。

設立から約30年が経過した現在も、地元を舞台とした演目を大切に上演しています。

また、平成22年からは、田島小学校3年生を対象にプロの指導者を招き、歌舞伎体験をする取り組みが続けられています。平成25年からは、特別舞台公演と銘を打ち、子どもたちの発表の舞台として本公演を開催しています。



- ① 勝どきを上げる長沼盛秀
- ② 祝杯を上げる長沼家
- ③ 愉快な話をする長沼家臣
- ④ 伊達政宗の軍勢を目の当たりにする長沼家の隼人之助
- ⑤ 和睦を勧める片倉小十郎景綱
- ⑥ さんさ時雨を舞う伊達家の左馬之助
- ⑦ 情景や役者の心情を語る義太夫
- ⑧ 歌舞伎の演出に欠かせない鳴物
- ⑨ 自分の命と引き換えに戦を止める長沼家の隼人之助
- ⑩ 隼人之助を称える長沼盛秀



第二部 一谷嫩軍記（須磨ノ浦の場）

第三部 南山義民の碑（地蔵が辻の場）